

市

報

市村

No.1013

January

2005

1/1

平成17年

謹賀新年 鳥

大地の恵みで人は生きている。
大地は人が生きていくための
知恵とコツも授けてくれる。
54日間、大地に触れた、
市村自然塾九州の塾生たち。
塾生の心に、
大地から芽吹く新芽のように
生きる力が生まれ、
成長している。



特集

生きる力を大地から学ぶ

市村自然塾九州

自然は最高の教育者



特集

生きる力を大地から学ぶ

 市村自然塾九州



特定非営利活動法人市村自然塾九州は平成十五年三月、河内町の河内小学校跡地に開塾しました。同塾は「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に掲げ、隔週末に小学四年生から中学二年生までの男女各三十人が男女別に共同生活しながら、農作業や自然体験を通して生きるための「知恵」と「コツ」を学びます。

今号では塾生六十人の九カ月間を追いかけ、ひ弱な現代っ子がたくましく成長していった姿を皆さんにご紹介します。

特定非営利活動法人 市村自然塾九州とは

市村自然塾九州はリコー、コカ・コーラウエストジャパン、三愛石油グループの創業者、故・市村清氏の生誕百周年を記念して設立された特定非営利活動法人（NPO）です。

塾舎は山荘風の鉄骨造り二階建て、延べ床面積七百二十㎡。敷地千二百㎡内の畑のほか、近隣の農地約四千㎡を借用し、ここで活動します。平成十五年三月に入塾した第一期生は男子のみの三十人でしたが、平成十六年三月からは男子三十人のほか、女子三十人の受け入れも開始。山あいにある塾舎で十八ステージ、五十四日間を過ごします。

受講料や宿泊、食事代金はす

塾関東があります。

佐賀が生んだ巨星 故・市村 清氏

佐賀が生んだ巨星、市村清氏は明治三十三年、三養基郡北茂安村（現・北茂安町）に生まれました。

旧制佐賀中学を一年余りで中退。銀行員などさまざまな職業に就いた後、三十六歳の時、OA機器・カメラなどを製造する株式会社リコーの前身「理研感光紙」を設立しました。

以後、さまざまな事業を起し、創業した会社は実に百二十社にも及びます。

日本の経済界に多大な功績を残した大実業家は昭和四十四年、六十八歳で、その生涯を閉じました。

べて無料。ただし、交通費や作業にかかる衣服代などは各自負担となっています。

第三期生は昨年十二月に募集を締め切り、佐賀県内はもとより、福岡、熊本、山口県からも応募があり、競争率は男子三倍強、女子二倍強でした。

ほかにも、神奈川県足柄上郡に特定非営利活動法人市村自然



佐賀が生んだ巨星、故・市村清氏。創業した企業が123社にも及ぶ大実業家です。北茂安町の名誉町民第1号（写真提供・北茂安町）



3月14日の入塾式。塾生は緊張の面持ちで河内利大塾頭の話に聞き入りました

緊張の面持ちで 入塾した60人

九千部山麓に建つ、市村自然塾九州。大木川がすぐそばに流れており、川のせせらぎが心地良く響き渡っています。

この恵まれた環境の中で「生きる力」を学ぼうとする現代っ



塾生に衝撃を与えた「ニワトリの解体」。「命の尊さ」、「生き物の命への感謝」を知った瞬間でした

子六十人が三月十四日、緊張した面持ちでその門を叩きました。

入塾式で、河内利大塾頭は「自然塾で自ら考え自ら行動できる自主性、自分のことは自分でできる自立性、他人の行動を見ながら自分の姿勢を正す自律性を培ってください」と激励。

以降、隔週末の三日間とはいえ、ひ弱な現代っ子が大自然に挑むこととなりました。

農作物は人がいくら手を掛けても、風雨や日照りなどの天候の影響、虫や有害鳥獣による被害や病気などと思うとおりの収穫ができません。まして、自然には「人が要求する気ぜわしいペース」や「わがまま」は全く通じない摂理があります。

食べ物に困らず、欲しい物も何不自由なく手に入れてきた子どもたちには自然塾での活動は

ある意味、試練かも知れません。

自然塾のスタッフは塾頭、塾母のほか、塾生たちにとってお兄さん、お姉さんに当たる「ブラザー」「シスター」、栄養士など十三人。「指示しすぎない」「命令しすぎない」「教えすぎない」「世話をやきすぎない」の四つの「無」を基本姿勢として塾生を指導していきます。

自然塾のだいご味 共同農園・チーム農園

自然塾では、共同農園とチーム農園で農業を体験します。

共同農園では、スタッフと共に塾生全員で米や野菜を五十種類以上栽培し、塾での食卓にのほります。一方、チーム農園は、年齢の違う六人を一チームとして、チームごとに栽培したい作物



↑第13・14ステージ、台風で倒れた稲穂を刈り取る塾生

↓最終第18ステージの夜、塾生一人ひとりが自然塾での思い出をたき火を囲んで語り合った「夜なべ談義」



物を決め、自らが企てた計画に基づいて農作業を進めます。もちろん、スタッフの助言を受けることもありますが、基本的にリーダーを中心に行うもので、十種類以上の野菜を栽培します。

ここで収穫した野菜は、お土産として家に持って帰ることができ、塾生にはそれが一番の楽しみ。だから塾に行くとき、まずチーム農園に足を運び、野菜の成長具合を確かめるのです。

大地と戯れた ガタリンピック

第5ステージ（5月）では、ガタリンピックを開催しました。ガタリンピックとは田植えに備え、田の土をかきおこして地ならしをする「代かき」の代わりに、綱引きや騎馬戦など四種目

人の良さを学べる所

市村自然塾九州のブラザー
黒田隆太郎さん(28歳)



ブレ開塾の時からブラザーをしていただきますので、三シーズンで塾生と一緒に過ごさせていただきました。三シーズンを通して感じる市村自然塾は「人の良さを学べる所。人間っていいなと思える所」だと思っています。

実は、わたしは福岡県北九州市で育っていますので、子どものころは工場の煙突から出る煙を眺めながら、友達と遊ぶという「都会っ子」でした。市村自然塾のような大自然に囲まれた抜群の環境の中で、仲間をつくり、仲間と過ごせた塾生のみんなをうらやましく思います。卒塾しても「第二のふるさと」として市村自然塾に遊びに来て、心身共に、一回りも二回りも大きくなった姿をわたしたちに見せてほしいものですね。



のどろんこ競技を行うものです。

入賞チームには、賞品として「焼き肉増量券」や「おやつ増量券」などが与えられることから、どのチームも泥まみれになりながら、競技に熱中しました。

必要以上に、清潔さに神経をとがらす時代。なかなか泥にまみれる機会がない現代っ子たちは、水を得た魚のように大地と戯れる喜びを体いっぱい感じていました。

農業体験の最終章 ニワトリの解体

第十六ステージ（十月・十一月）には、河内塾頭が「農業体験の最終章」と言う「ニワトリの解体」が行われました。

する授業を実施。

「農業は作物や野菜を栽培し、家畜を飼育してその命を頂くことだ」「生き物は人間に食べてもらおうと生きているわけではない。子孫を残そうと必死になって生きているんだ」などと、いつも以上に熱がこもる授業に塾生は約一時間、聞き入りました。塾生が育ててきたニワトリがつるされ、その首にナイフが入ると、子どもたちは思わず目を背け、中には泣き出す子まで…。

しかし、そんな塾生に普段温厚な河内塾頭が大声を上げます。「めそめそするな。命の尊さを知るための大切な体験なんだ。（ニワトリを）ちゃんと見ろ！」しばらくして、ニワトリが絶命。命の恵みに感謝して全員で手を合わせました。



↑ガタリンピックで泥だらけになった塾生。子どもには泥と笑顔がよく似合います

「まだ卒業したくない」 卒業式

かった女子塾生は「ショックだったけど、わたしたちを生かしてくれていることに感謝したいです」と声を詰まらせた。

夕食はニワトリづくしで、おかわりして食べている塾生の姿が印象的でした。

とうとうこの日がやって来

ました。「まだ卒業したくない」と話す塾生も多い中、卒業式が十二月十二日、開かれました。

式では約九カ月間の自然塾での活動で学んだことについて、塾生一人ひとりが「振り返りの言葉」を発表。

「自然塾のおかげで自分に自信がつき、胸を張って力強く生きていけるようになりました」

「わたしは野菜が苦手でした。でも自然塾のおかげで野菜が好きになりました」—などと。入塾式で抱負を小声で話していたころとは見違えるくらい大きな声で堂々と話しました。

市村自然塾九州で「生きる力」「仲間」を得た塾生たちは、この日からそれぞれの夢へ向けて歩み始めます。ここでの思い出を生徒忘れることなく…。

達成感を味わった 子どもの笑顔忘れられない

市村自然塾九州のシスター
實松裕子さん（24歳）

家の中で、しかも一人で遊ぶ子どもが多いと聞きます。「外で日の光を浴びて遊ぶことは楽しいんだよ」「友達の大切さを知ってほしい」。この二つが塾生に訴えたかったことです。

市村自然塾の塾生たちは、十八ステージの活動を通じて「自然」「友達」の大切さを実感したはずだと信じています。

わたし自身、農作業は初めての経験で、虫やたい肥を手でつかむことには当初、戸惑いました。やってしまえば、大したことではないんですが…。何事にも経験、体験、たししみを感じたものです。野菜を収穫した時など、子どもたちが達成感を感じた瞬間に出る最高の笑顔。この笑顔は絶対に忘れることができます。



市

村自然塾九州で子どもたちは、農業・自然体験、共同生活を通して、生きるための「知恵」と「コツ」を学ぶ。

知恵とは自ら考え、自ら行動できる「生きる力」のことで、コツとは、一般にいう「要領」のことである。知恵やコツは体を動かさないうり身に付かないもので、机上や頭の中であれこれ考えても、絶対に生まれてこないものである。

かつて、子どもたちには学校が終わって、年齢の違うみんなが集まる場所、グループがあった。それが「群れ」である。

現代の子どもたちにとって魅力ある、外で遊ぶ群れの場所が減ってきている。自然塾には、自然もあれば仲間もいる。そう「群れ」があるのだ。だから、塾生は学校を休んでも、病気をしても、医者や親から止められても、自然塾には来る。子どもたちにとって魅力がいつばい詰まった場所なのである。

不安を抱え、緊張して入塾してきた塾生も、ステージを追うごとに塾生活に慣れてくる。慣れてくると、塾生はささいなこ

とで口論し、けんかが始まる。内心「よしよし」と思っている。

暴力でもいじめでもない「兄弟げんか」は、子どもの成長過程で非常に大切なことだ。共同生活での塾生同士のけんかとは、まさに「兄弟げんか」である。

兄弟げんかを通して、人は「仲直りのコツ」を学ぶ。社会に出れば、意見の食い違いなどから、いろんな人と衝突することは避けられない。その時、いかに仲直りができるかが、良い人間関係を築く上でのカギとなる。子どもたちのころ、兄弟げんかで自然に身に付けた「仲直りのコツ」がその子の将来を左右するといつても過言ではない。

昨年は佐世保市で起きた小学生女児による同級生殺害事件など、未成年者による殺人事件が世間を騒がせた。昨年ほど、教育者として、子どもたちに「命」を教えていかなければならないと感じたことはなかった。

「命は一回限りである」テレビやゲームの影響で、今の子どもは人が死んでも、また生き返ると思っている。

自然塾では、農業を通して「命」を学んでいく。そもそも農

業は「生き物の命を頂く」ことである。農業体験の最終章が「ニワトリの解体」である。

この体験こそが、生き物の命を頂くという人の生きる苦しみを子どもたちに実感させると同時に「命の尊さ」を教えることは論をまたないことである。

わたしは教員として三十八年

間を過ごした。その生活を振り返ってみても、自然塾の子どもたちのように、良い方向に生徒たちを劇的に変えることはできなかった。

自然塾のようなロマンあふれる場所をどんどんつくっていたら、全国へ自然塾での活動状況を発信していきたい。

生きる力は 体を動かさないうり 生まれてこない

生きる力の伝道師 市村自然塾九州・塾頭 河内利大さん



プロフィール

かわち・としひろ

昭和16年武雄市生まれ。東京農業大学卒業後、農業高校の教諭を務める。平成14年3月唐津南高校校長を定年退職し、同年6月から現職。



第16ステージ、「ニワトリの解体」の仕方を塾生に指導する、河内塾頭

ふんけい 芻頸の友と...

芻頸の交わりとは、一緒に頸(くび)を芻(は)ねられても後悔しないほどの固い交わりのこと。河内塾頭が第16ステージで塾生に教えた言葉です。9カ月間、寝食を共にして生まれた友情は、間違いなく芻頸の交わりです。

(以下順不同、敬称略)



女子Aチーム

山崎 茜(リーダー)
奥村千都世
片淵紅葉
福島恵美
木村知代
坂梨成美



女子Bチーム

清永知世(リーダー)
緒方樹子
木塚由起子
佐藤瑞季
甲斐田幸希
下川菜津希



男子Aチーム

大西真寛(リーダー)
永田健太
山崎豪大
井上 健
中野雄仁
橋口昌弘



女子Cチーム

斉藤有希(リーダー)
小野千晶
榎藤ゆり
藤原朋美
末松由都
山本 雅



男子Bチーム

北島虎太郎(リーダー)
大島祐基
藤光祐輔
千葉俊郎
国松良総
秋月啓則



女子Dチーム

大石 文(リーダー)
境美沙希
鶴田梨紗
坂井愛菜
糸山未来
川島みな美



男子Cチーム

辻 隆(リーダー)
横尾耕平
荒木貴裕
手塚俊之介
木村治一郎
御木賢成



女子Eチーム

東 亜紀(リーダー)
徳永杏奈
橋本佳保
鶴田梨菜
古賀 梓
堤ひかる



男子Dチーム

中村公威(リーダー)
篠原和敏
古賀和浩
古江祐太
多々良祥
住田智基



男子Eチーム

光末貴海(リーダー)
尊田将平
田中良明
成沢 慶
空閑正樹
岩瀬翔太郎

●問い合わせ

特定非営利活動法人
市村自然塾 九州
〒841-0087 鳥栖市河内町2212番地2
tel 82-5211 fax 82-5502
E-mail: szj@isis.ocn.ne.jp
URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~szj/>

事業認可区域 (整備予定区域)を拡大します

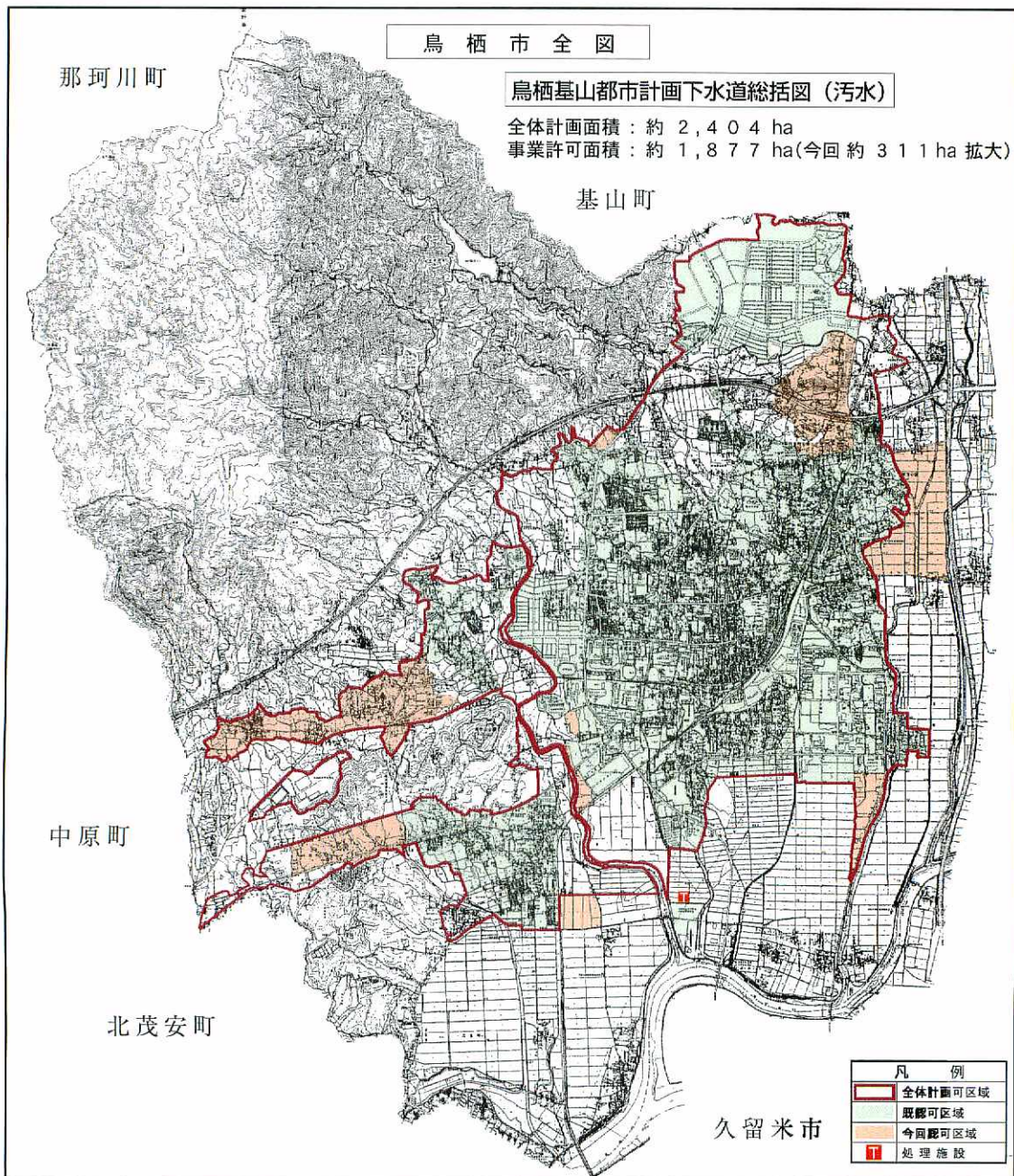
市では、市民の快適な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図るため下水道の整備を推進しています。

昭和51年度に工事に着手して以来、これまで4回の事業認可区域(整備予定区域)の拡大を行い、平成15年度末では約1424haの区域の整備が完了。これは事業認可区域の約90%にあたります。

新たに平成17年度から同23年度までの7カ年で事業認可区域を拡大(面積311ha・橙色区域)します。

新たに整備対象となる区域は、市街化区域内の村田町、西新町、原古賀町、平田町、一本杉住宅、立石町、田代昌町、田代新町、田代本町などの一部区域となります。

現在、下水道整備に早期着手できるように国や県に対して、事業計画および事業区域の協議と都市計画法・下水道法の諸手続を進めています。



4月ごろまで手続きに時間がかかる見込みです。この手続きが終わり次第、現地測量、調査、設計

などを行い、下水道計画の下流地域から順次工事着手する予定です。なお、この計画に伴い、

新たに下水道事業認可区域となった区域は、4月以降の合併処理浄化槽助成対象区域から除外され、合併処

理浄化槽の設置補助金が受けられなくなります。詳しくは、下水道課事業係(☎85・3543)へ。

鳥栖市ホームページを 新たに開設(1月4日)

行政情報などを広くお知らせするため、市では1月4日、ホームページを新たに開設します。

トップページを「市民向け」「訪問者向け」「事業者向け」に分け、「くらし便利帳」「市内施設のご案内」「鳥栖市の紹介」「統計」などの情報を提供するほか、申請書のダウンロードや電

子メールによる「提案箱」を設けています。今後も随時、更新していく予定です。どうぞご利用ください。

◆アドレスは

<http://www.city.tosui.jp>

また、新ホームページに掲載するバナー広告の広告主と地域情報を募集します。詳しくは、広報広聴課

市民相談広報係(☎85・3576)へ。

■バナー広告の募集

掲載期間 ● 1カ月単位で最長12カ月。2月から掲載開始

掲載場所 ● 「市民向け」「訪問者向け」「事業者向け」の各トップページ

掲載料 ● 1カ月5000円
規格 ● 30KB以内のGIF形式、横150ピクセル×縦50ピクセル

申し込み ● 広報広聴課備え付けの申請書に必要書類を添えて、同課へ提出してく

ださい

■地域情報コーナーの情報募集

対象 ● 鳥栖市域で活動している宗教・政治・営利を目的としない団体・個人の紹介、メンバー募集などの情報

掲載場所 ● 「鳥栖市情報広場」ページ
掲載期間 ● 1カ月単位で最長6カ月
掲載料 ● 無料

申し込み ● 広報広聴課備え付けの申込書を、同課へ提出してください

お問い合わせ ● 市民文化会館(☎85・3645)

市民公開講座

日本放射光学会では市民公開講座「SAGAシンクロトロンって何だろう？」を開きます。参加無料。

とき ● 1月8日(土)午後2時40分～同4時40分

ところ ● サンメッセ鳥栖4階ホール

演題・講師 ● シンクロトロンは21世紀の精錬方 ● 古川康典知事 ● シンクロトロン光って何だろう? ● 北村英

申し込み ● 事前にFAXまたは電子メールで日本放射光学会(FAX 03・5950・1292、電子メール: jssrinfo@jssr.jp)へお問い合わせ ● 県新産業課(☎0952・25・7129)

鳥栖市嘱託職員を募集

市では、来年度の嘱託職員を募集します。詳しくは総務課職員係(〒841-8511鳥栖市宿町1118番地 ☎85・3504)へ。募集要件 ● 平成17年4月1日現在で60歳以下の市内在住者(以前、市嘱託職員として任用された人は除く)
任用期間 ● 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで(勤務成績が良好なときは任用期間を更新する場合があります)
申し込み ● 1月17日から28日までに次の①～④を同課へ提出してください(郵送可、28日必着) ①申込書(記載例を参照して作成してください) ②市販の履歴書に写真を貼付したもの ③返信先を記入したはがき ④必要な資格を証明する書類の写し(下表(3)のみ) ※重複申し込みはできません

選考方法 ● 書類選考、面接など(2月実施予定。応募者には日時などを後日、お知らせします)
結果通知 ● 3月上旬に、合否に関係なく全員へ通知します

■募集業務の内容

業務名	必要な資格	勤務形態	賃金月額	募集人員
(1)河内ダム監視		週5日(月～金曜日) 8:30～16:30	145,530円程度	1名
(2)公民館主事		週5日(土日含む) 9:00～17:00 14:00～22:00	150,530円程度	3名
(3)市民文化会館、中央公民館空調・ボイラ一操作管理	ボイラー・技士(1または2級)取得者	週6日(土日祝含む) 8:30～22:00(二交替勤務)	150,530円程度	1名
(4)市民文化会館、中央公民館施設管理守衛		週6日(土日祝含む) 17:00～23:00	136,430円程度	1名

※勤務形態、賃金月額、募集人員は変更する場合があります。



天童よしみコンサート 2005

「天童よしみコンサート2005(後援・市文化事業協会)」が次のとおり開かれます。明るいキャラクタ

ターで抜群の歌唱力を誇る天童さんのステージを、ぜひご覧ください。

とき ● 2月14日(月) 昼の部 ● 午後2時

開演 ● 夜の部 ● 同6時半開演

ところ ● 市民文化会館大ホール

入場料 ● 全席指定。S席7500円、A席6500円

申し込み ● 市民文化会館大ホール

申し込み ● 市民文化会館大ホール

申し込み ● 市民文化会館大ホール

■申込書記載例

鳥栖市嘱託職員任用申込書
平成 年 月 日

私は、定められた要件を満たし、下記業務の嘱託職員を希望しますので、申し込みます。

記

希望業務名 _____

住所 _____

氏名 _____

電話番号 _____

※A4サイズで作成してください

■おわびと訂正

前号掲載の「鳥栖市嘱託職員募集」記事に誤りがありました。募集業務内容の表(4)市民文化会館、中央公民館施設管理守衛の勤務形態を「週5日」としていましたが「週6日」です。おわびして訂正します。

市制50周年記念事業 鳥栖市子ども議会 子ども議員29人が市政を質す



保護者を中心に傍聴席からたくさんの人が見守る中、市政を質す子ども議員

鳥栖市子ども議会が鳥栖市議事堂で開かれ、市内小中学校から選出された子ども議員二十九人が市政を質しました。最初に議長選挙を行い、前半の議長に山下諒議員（鳥栖中三年、轟木町）、後半に松雪翼議員（同三年、真木町）を選出。その後、議席の指定や会期の決定などが議員全員の同意で可決され、いよいよ質問が始まりました。



鳥栖市のリサイクルの状況について質問する、徳淵晶子・鳥栖市子ども議員

「スタジアムはサッカーばかりでなく、もっと市民に有効に利用してもらわなければならない」「鳥栖流通工業団地にはどんなメリットがあるのか」などと、それぞれの議員が堂々と質問や意見を述べました。

牟田秀敏市長は「中には『なるほどな』と感心する意見もあり、頼もしく思う」とあいさつした後、主催した鳥栖市子ども議会実行委員会が募集した「住みたい町鳥栖」作文の入賞者十人を表彰。市長賞の岸俊介さん（鳥栖小六年）と天本夏未さん（鳥栖中三年）が作文を朗読しました。

後半の議長を務めた松雪翼議員は「とても緊張しましたが、こういう機会をいただいたことに感謝しています」と大役を終えての感想を語りました。

ま ち の 話 題

TOPIC NEWS



写真左から齊藤正晃さん、高取忠彦さん、梅甚一郎さん、天本良光さん

11/22

ドイツ・ツァイツ市から名誉証 庭園博覧会での業績たたえる

平成十五年にドイツ・ツァイツ市に派遣され、日本庭園を造り上げた鳥栖市緑化協力会の技術者四人に同市から名誉証とメダルが贈られました。

庭園は、昨年四月から十月まで開催されていた「庭園博覧会」でドイツ国民に披露。今もツァイツ市と交流を続けている四人は「思いがけないことで、とても光栄です」と喜びを語りました。

11/17

鳥栖市母子保健推進協議会が大臣表彰 母と子の健康のため、35年間活動



表彰状を手にする半田会長

鳥栖市母子保健推進協議会（半田力子会長）の三十五年も及ぶ活動が認められ、厚生労働大臣表彰を受けました。

母子保健推進員は、赤ちゃん訪問、健診など市が行う母子保健施策を普及し、母と子の健康のために活動します。

また、同推進員の杉野時子さん（安楽寺町）と松隈美智子さん（秋葉町）が母子保健推進会議会長賞を受賞しました。

なるほど

第⑤回

ね!

イングリットの
日独比較論

Ingrid Klorf



国際交流員イングリット・クローツさんの執筆コーナーです

ドイツ 日本

シュトレンの作り方

ドイツのクリスマスケーキ「シュトレン」づくり教室を12月18日、若葉コミュニティセンターで開きました。この教室は大好評。市報で参加者を募ったのですが、市報発行後、数日中には定員に達し、たくさんの人にお断りしました。反響の大きさに驚くと同時に「シュトレン」に興味を抱いてくれる人がこんなにも多いことを知ってうれしく思いました。

そこで、お断りした方をはじめ、市民の皆さんにもシュトレンの作り方を教えます。

【材料】

小麦粉（強力粉と薄力粉を半々に混ぜ合わせたもの）200g、生イースト10g、牛乳100ml、砂糖60g、粉砂糖適量、バター100g、塩1つまみ、卵黄1個、レーズン150g、オレンジピール50g、薄切りアーモンド50g、バニラエッセンス（またはバニラオイル）適量、アーモンドエッセンス適量、ナツメグ適量、カルダモン適量

【作り方】

- ①まずは前生地を作る。牛乳を温めて、生イーストと小麦粉100gを加えてボールで混ぜ軽くこねる。ボールにふきんをかぶせて、こたつの中など温かい所において、20～30分ぐらい発酵させる
- ②前生地に残りの小麦粉、砂糖、卵黄、塩、ナツメグ、カルダモン、エッセンス（バニラとアーモンド）を加えてよく混ぜる。次にバター80gを加えて滑らかになるまでこねる。それからレーズンとアーモンド、オレンジピールを加え、丁寧に混ぜ、こねる
- ③生地に①同様ふきんをかぶせて、温かい所で約1時間休ませる。生地はこの間に発酵し、量は2～3倍ぐらいに膨らむ。プクプクした張りのある生地になるのが目標
- ④生地をよくこねて、ロールパンの形に巻き込み、表面に長い切れ目を入れる
- ⑤オープン用鉄板にオープンペーパーを敷いて、シュトレンをのせ、熱しておいたオープン（200℃）で約50分間焼く。（注）シュトレンを焼いている最中にこげている場合は生地にアルミホイルをかぶせる
- ⑥残りのバターを温めて、焼き上がったシュトレンに塗り、粉砂糖をたっぷり振り掛けたら出来上がり！

←焼き上げてから2週間ぐらいたつと、食べごろといわれています。ぜひ、お試しください



11/30

一日市長

中学生2人が市長の仕事を経験



鳥栖市子ども議会の開催に併せて、行政の業務や役割などを子どもたちに知ってもらおうと「一日市長」が任命されました。任命されたのは、富永千紘さん（田代中二年）と時祐太さん（基里中二年）。二人は、牟田秀敏市長ら市四役との懇談や広域ごみ処理施設、九州新幹線筑紫トンネル工事現場を視察するなど「市長の仕事」を経験しました。

福祉啓発講演会



福祉啓発講演会（主催・若楠生活支援センターもしもしネット）が11月27日、サンメッセ鳥栖で開かれました。コミュニケーションセラピ

ストのカニングハム久子さんが、発達障害に関して講演。参加者約120人が臨床や実践の現場の話に熱心に聞きました。

12/5

ふれあいクリスマスパーティー さまざまな催しでクリスマス気分を満喫



障害者同士がふれあって、交流を深めようと「ふれあいクリスマスパーティー（主催・手をつなぐ親の会）」が社会福祉会館で開かれました。パーティーには九州環境福祉医療専門学校（学生ボランティアなど）が参加。クリスマスカード作りやハンドベルの演奏などさまざまな催しでクリスマス気分を満喫しました。

子どもミュージカルの主役に

今村彩夏さん(若葉小6年、萱方町)

「五月の子どもミュージカルを見て、出てみたいと思いました。すごく感動したんです」

三月五日・六日に公演予

定の鳥栖子どもミュージカル「虹のあどれす」の主役・さち役に選ばれました。「虹のあどれす」は、昨年五月に公演され、大好



評を博した「あいと地球と競売人」に続く鳥栖子どもミュージカルの二作目。

夢の中でさまざまなきき物や出来事に遭遇しながら成長していく、五人の小学生たちの冒険物語です。

今村さんが

演じるさちは「元気でおっちょこちょいの六年生」という役どころ。しっかり者で生徒会長のゆきや、のんびりしているあかねたちと夢の中を旅します。

オーディションの審査員を務めた、同ミュージカル実行委員会・有馬治子事務

あんひと

こんひと

149

局長は「表情が豊かでもよかった。声が大きくダンスも上手で、何より脚本のさちのキャラクターにぴったりでした」と主役に選んだ理由を話しました。

週四回行われている練習

について、今村さんは「みんなとできて本当に楽しい。趣味みたいな感じかな」と笑顔で話します。

「五人を中心にみんなで力を合わせて頑張りたい。今までで一番いい、見てくれた人の最高の思い出になるようなミュージカルにしたいです」

『札幌からこんにちは』

北海道札幌市

原口佳記さん(64歳)

遠き、にありて

【44】

お便りコーナー

昭和三十八年三月末、肥前旭駅を発って、三十八時間後、札幌に到着。雪解けの道のため、着いてからすぐに長靴を買いました。あれから、もう四十年が過ぎました。

その間、平均して三年に一度は帰省していましたので、故郷の着実な発展と変貌ぶりは拝見していました。近年ではJ2サガン鳥栖のことを心配しつつ、鳥栖高校出身の佐藤吉宏選手



がプロ野球・北海道日本ハムファイターズに所属していることを喜んでいました。しかし、何と言っても、北国からみた故郷は、交通

の要衝としての役割が以前にも増して、大きくなっているように感じます。

肥前と北海道の強い縁を申しますと、初代の北海道開拓使長官は鍋島閑叟(直正公) 主席判官・鳥義勇(鍋島藩)が明治

二年に任命され、現在の札幌の基盤を造りました。札幌市役所のロビーには、判官の功績を讃えて、巨大

定住所(三) ままぶ

教育委員会 社会体育課 社会体育係 鶴久 祐子



社会体育課では、体力づくり教室やスポレク祭、ロードレース大会の開催、全国高校総体準備事業、体育用具や運動広場の貸し出しなど、スポーツに関する業務を行っています。健康・体力向上のため気軽に参加できる環境づくり、スポーツ振興に努めています。

な像が建てられています。年を重ねることに故郷への帰郷心が募ります。生家がない今でも、同時代と一緒に暮らした人たち、里山や清流、田畑、そして四季の移り変わりなどを思い巡らしています。かけがえのない美しい自然を後世の人へ引き継いでほしいと願うとともに、郷土の限らない発展をお祈りします。



市長 牟田 秀敏

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには輝かしい二〇〇五年の新春を健やかに迎えの心から喜び申し上げます。平素は市政全般にわたり

ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。本市は昨年、市制施行五十周年を迎え、五月八日、約九百人が出席して盛大に記念式典を挙行了しました。一昨年から進めて参りました各種記念事業では、五月の鳥栖子どもミュージカル「あいと地球と競売人」が二日間で約二千八百人の観衆を集めたほか、九月の

シンボルイベント「とす50祭」に三日間で延べ約三万一千人が来場するなど、数多くのイベントで皆さまと、この節目の年を祝うことができました。また、七、八月にはピア「フツペル」を通じて縁のあるドイツ・ツアイツ市へ「公式訪問団」と市内の中学生十人による「子ども交流訪問団」を派遣し、

親交を結んで参りました。このように今日の鳥栖市があるのも、先人・先輩の皆さまのたゆまぬ努力と精進のたまものであり、心から感謝を申し上げるとともに、そのことを常に肝に銘じながら、リーダーとして鳥栖市をもっと良いまちにして、次世代に引き継いでいかねばと、決意を新たにいたしましたところですので。

国が進める三位一体の改革などにより、本年も引き続き、厳しい行財政運営を迫られますが、皆さまのご理解とご協力を仰ぎながら、「住みたいまち」「住んで良かったまち」づくりにより一層努力いたします。新しい年が皆さまにとってすばらしい年になりますよう心から祈念し、年頭のごあいさつといたします。

Viva! ビバスポーツ (161)

国際親善グラウンド大会 ・ゴルフ交流鳥栖

国境越えて交流深める

鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会は平成十三年に第一回国際親善大会を開き、韓国やハワイでの大会にも参加しています。グラウンド・ゴルフは、昭和五十七年に鳥取県で考案されたニュースポーツ。ゴルフのよ

市制五十周年記念事業「国際親善グラウンド・ゴルフ交流鳥栖大会」が十一月二十三日、鳥栖スタジアムで行われました。大会には韓国から十人、台湾から五十六人を招待したほか、県内と山口県からプレーヤーが参加。総勢約六百人がゲームを行い、親

うにボールをクラブで打ち、ホールポストと呼ばれる直径三十六センチの輪に入れるまでの打数を競います。参加者たちは、ニコース十六ホールで対戦。いつも土の上でプレーしている参加者たちは、鳥栖スタジアム



片言ながら3カ国語を操り、ゲームを通じて交流を深める参加者たち

の長い芝に苦戦しながらも秋晴れの下でのゲームを堪能しました。ゲームの休憩時間には、田代中学校の茶道部員たちが和服姿でもてなし。お点前を初体験した海外からの参加者たちは、恐る恐る抹茶を口に運びました。

会社で見つけた

さわやかさん #141

(有)グリーンエアは、昨年十月に本通り商店街にできた雑貨販売の会社で、私はアロマセラピーのアドバイザーをしています。マッサージをして、お客様から「気持ちよかったですよ」と言ってもらえると、もっと頑張ろうという気持ちにな



(有)グリーンエア勤務
片山智絵さん
(22歳、太宰府市)

りますね。家でハーブティーを飲んだり、芳香浴をすると落ち着きます。お風呂に入って寝るまでの自由な時間が大好き。店内も本当に落ち着くことができる場所なので、皆さんもぜひアロマセラピーを体験しに来てくださいね。

鳥栖市消防団出初式



鳥栖市消防団では、1月9日(日)消防出初式を行います。
市中パレードは、ジョイフルタウン鳥栖東側道路を午前9時に出発。市役所まで約2キロの道のりを、鳥栖工業高校によるマーチングバンドを先頭に、消防団

員らが行進します。その後、市役所では「古式消防はしご乗り」を行います。団員による古式ゆかしい「はしご乗り」に皆さんのご声援をお願いいたします。
なお、出初式に伴い市役所前広場は、1月8日(土)

午後から駐車禁止になります。ご協力をお願いします。



保健・福祉

家族介護教室

とき ● 1月30日(日) 午前10時～正午
ところ ● デイサービスセンター 緑寿館
内容 ● 更衣動作について
参加料 ● 無料

申し込み ● 寿夢の郷在宅介護支援センター(☎84・4338)へ

市児童センター あそびの教室

市児童センターでは、次のようなあそびの教室を開きます。どの教室も参加自由で参加無料です。詳しくは同センター(社会福祉会館内 ☎85・3616)へ。

はいっポーズ!!



山口大樹さん 和恵さんの長男

亮 晟 くん

(9カ月、蔵上2丁目)

● 両親からひと言、今の調子で元気にすすくと育ってネ!

子育て支援センター「あそびの会」

就園前の幼児を対象に、

教室名	対象	1月の日程
母と子のサロン	H14.3以前生まれで就園前の幼児と保護者	11日・18日・25日(火) 10:00~12:00
		13日・20日・27日(木) 10:00~12:00
		12日・19日・26日(水) 14:00~16:00
母と子の広場	幼児と保護者	11日・18日・25日(火) 14:00~16:00
		13日・20日・27日(木) 14:00~16:00
		12日・19日・26日(水) 10:00~12:00
母と子のキッズサロン	H14.2~H15.1生まれの幼児と保護者	14日・21日・28日(金) 10:00~12:00
		26日(水) 10:30~11:30 (受け付けは10:30まで)

あそびの会を開きます。時間はいずれも午前10時から11時半までです。詳しくは子育て支援センター(小鳩園内 ☎84・5122)へ。

園庭開放		いないいないばあひろば		やよいの広場	
とき	ところ	とき	ところ	とき	ところ
5日(水)	小鳩園	7日(金)	鳥栖北公民館	17日(月)	若葉コミュニティセンター
8・15日(土)	小鳩園	11日(火)	基里公民館		
12日(水)	下野園	13日(木)	麓公民館	20日(木)	田代公民館
13日(木)	やよいが丘保育園	14日(金)	鳥栖公民館		
19日(水)	白鳩園	17日(月)	旭公民館		
26日(水)	いづみ園	※「いないいないばあひろば」と「やよいの広場」は、それぞれ月1回の参加です			

1月の市休日救急医療センター当番医等表

区分	内科系		外科系	
	昼間	準夜間	昼間	準夜間
1日(祝)	前山先生	高尾先生	運天先生	左に同じ
2日(日)	日吉先生	高尾先生	中嶋先生	左に同じ
3日(月)	武田先生	和田先生	黒岩先生	左に同じ
9日(日)	玄々堂内科	大園先生	山喜先生	左に同じ
10日(祝)	杉山先生	中川原先生	伊東先生	左に同じ
16日(日)	須貝先生	宮崎先生	三輪堂医院	左に同じ
23日(日)	古賀(歳)先生	石田先生	小村先生	左に同じ
30日(日)	野田先生	野下先生	廣松先生	左に同じ

合がありますので、あらかじめご了承ください。

「二存しですか」

建物を壊したら届出を

固定資産税は毎年1月1日現在、土地、家屋、償却資産を所有している人に課税される市の税金です。

平成16年内に建物の一部または全部を壊した場合は必ず、市税務課固定資産税係(☎85・3589)へ届け出てください。

届け出ない場合は、来年度の固定資産税に、壊した建物の分も課税されることがありますのでご注意ください。

所得税の還付申告はお早め!

医療費控除、住宅借入金等特別控除等を受けるための所得税の還付申告書は1月(土、日、祝祭日は除く)から税務署に提出できます。申告期間中は会場が混雑しますので、早めに税務署で申告してください。

詳しくは鳥栖税務署(☎82・2186)へ。

農業所得の申告方法

平成16年分の申告から農業所得に関する標準が廃止され、収支計算による申告となります。

このため、農業の収入と経費については、領収書や帳簿など(農協のアグネス等)を事前に用意してください。領収書などについては、科目(農薬費・肥料費など)ごとに整理しておいてください。

なお、準備が不十分な場合は、原則として申告の受

け付けができません。
詳しくは鳥栖税務署（☎82・2186）、市税務課（☎85・3588）へ。

指名願の受け付け

工事、測量・設計等業務などの指名願（入札参加資格審査申請書）を1月31日まで、契約検査課で受け付けます（郵送の場合は同日必着）。

指名願の有効期間は4月1日から2年間です。提出書類に関する要領（入札参加資格審査申請書提出要領）は同課で配布します。
詳しくは契約検査課（☎85・3547）へ。

相談

1月の心配ごと相談

とき ● 毎週水曜日、午前9時半～午後3時半
ところ ● 社会福祉会館（第2・4水曜日は市役所2階第1会議室）
相談員 ● 民生委員・児童委員
問い合わせ ● 市社会福祉協議会（☎85・3455）

1月のよろず相談

1月のよろず相談を次の表のとおり行います。
会場は、いずれも市役所2階第1会議室。詳しくは広報広聴課市民相談広報係（☎85・3576）へ。

日 時	相談内容
12日 (水)	9:30～15:30 行政相談、人権相談、心配ごと相談
	10:00～15:00 交通事故相談
	13:00～15:30 法律相談（予約が必要です）
26日 (水)	9:30～15:30 心配ごと相談
	10:00～12:00 行政手続相談
	10:00～15:00 交通事故相談
13:00～15:30 法律相談（予約が必要です）	

募集

骨髄バンク登録受付説明員ボランティア

骨髄移植推進財団では、骨髄バンク登録時にドナー登録希望者に説明を行うボランティアを募集します。
詳しくは、骨髄移植推進財団地区普及広報（☎0955・46・4698）へ。

育英資金貸付基金奨学生
鳥栖市育英資金貸付基金の奨学生を募集します。詳しくは市教育委員会総務課（☎85・3691）へ。

対象 ● 今春、高校に進学する市内の中学生12人
貸付金 ● 月額1万2000円以内、無利子
申し込み ● 2月28日（月）までに各中学校の担任へ

登山教室参加者

● 星生山（九重）・冬山登山
とき ● 1月30日（日）午前7時出発

ところ ● 市役所玄関前集合
持ってくるもの ● 弁当、水筒、雨具（かっぱ）、防寒具、手袋、着替えなど
参加料 ● 3000円
募集人員 ● 登山経験者50人
申し込み ● 1月5日以降、参加料を添えて市教育委員会社会体育課（☎85・3522）へ

エコクッキング教室参加者

市環境保全協議会、市米

消費拡大推進連絡協議会ではお米を使ったエコクッキング教室を開きます。
とき ● 2月8日（火）午前9時45分開始
ところ ● 保健センター
定員 ● 20人（先着順）。
託児可（事前申し込み必要）
受講料 ● 無料
持ってくるもの ● エプロン、三角巾
申し込み ● 生活環境課（☎85・3577）へ

「新春！捨てちゃい缶バイ！作戦」参加者

市内全域で環境美化意識の向上を図るため、清掃美化活動を実施します。
詳しくは生活環境課（☎85・3577）へ。

とき ● 1月30日（日）午前9時15分集合（雨天の場合は中止）
集合場所 ● 若葉コミュニティセンター
内容 ● 道路沿い、植え込みなどに散乱したごみの回収。1～2時間程度
その他 ● ごみ袋、火ばさみなどは主催者で準備しますが、軍手はご持参ください。動きやすく汚れてもよい格好でご参加ください

クロスロードイベント情報

久留米市、小郡市、基山町のイベントコーナーです

「マティソン郡の橋」上映会（基山町）

とき ● 1月22日（土）午後1時半～
ところ ● 基山町民会館大ホール
入場料 ● 大人・子ども一律300円、親子ペア券500円
チケット取扱所・問い合わせ ● 同会館（☎92-1211）

如意輪寺火渡り

（小郡市）

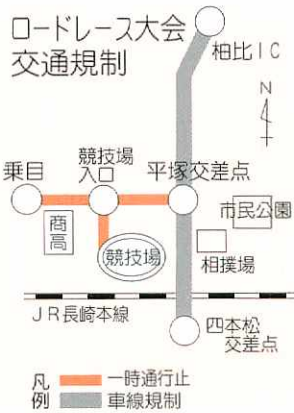
とき ● 1月17日（月）午前10時～（火渡りは午後1時～）
ところ ● 如意輪寺（西鉄「三沢」駅より徒歩10分）
問い合わせ ● 如意輪寺（☎75-5294）

人口	平成16年12月1日現在			()内は前月比
総数	男	女	世帯数	
63,371(+77)	30,493(+42)	32,878(+35)	22,776(+36)	
1月の納税				
市県民税（4期分）		納期限 ● 1月31日		
国民健康保険税（8期分）				
水道の修繕				
鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500				
● 水道の修繕はすべて上記へお申し込みください				
市政広報番組				
テレビ広報とす ● <みんテレビ（ケーブルテレビ）毎月第4週の日曜日から土曜日まで				
①10:00～10:15 ②13:00～13:15				
③16:00～16:15 ④19:00～19:15				
⑤22:00～22:15				
市への提言・意見 FAX (83) 3310				

ロードレース大会 1月9日 交通規制にご協力を

市制50周年記念「第43回鳥栖市祝成人ロードレース大会」と「第17回高校生鳥栖10キロロードレース大会」が1月9日(日)市陸上競技場を発着点に5キロの部と10キロの部の2コースに分かれて行われ、これに伴い交通規制をします。規制時間中は、鳥栖警察署員や実行委員が車の誘導に当たります。また、市民公園と市民相撲場に駐車場を設けますが、混雑が予想されます。

選手の安全と、円滑な大会運営のため、皆さんのご協力をお願いします。詳しくは、鳥栖市ロードレース大会実行委員会事務局(教育委員会) 内 ☎85・3522へ。



局(教育委員会事務局) 内 ☎85・3522へ。

2)へ。

■スタート時刻
午前9時スタート
10キロの部
(一般・高校生
(公認)
午前10時スタート

市制50周年記念事業・市民提案イベント 緒方孝市選手野球教室



鳥栖市出身の緒方孝市選手ら広島東洋カープの選手を招いて少年野球教室を開きます。

プロ野球セントラルリーグを代表する選手で、市民栄誉賞を受賞している緒方孝市選手の指導をぜひご覧ください。1月23日(日)午前10時～、市民球場。詳しくは、市少年野球連盟・白水 ☎82-0523)へ。

市民スキー&スノーボード教室

2月5日(土)午後10時、市役所集合。会場は広島県芸北国際スキー場で、会費はいずれもスクール料金を含んで、大人(中学生以上)8,900円、子ども(保護者同伴)7,900円です。定員は45人(先着順)。申し込みは岡本 ☎85-2269)へ。

第61回鳥栖市民大学

1月29日(土)午後1時半～、市立図書館。講師は元・NHK佐賀総局長の貞森比呂志さん、演題は「楽しい話し方、明るい会話を学ぶ ユーモア人生で楽しく」です。入場無料。詳しくは鳥栖市民大学事務局 ☎83-7490)へ。

「くすり袋～明治から大正へ～」

2月27日(日)まで開催中。中富記念くすり博物館。薬袋(やくたい)を中心にくすりの広告・効能書などを公開します。時間は午前10時～午後5時、入場料など詳しくは同博物館 ☎84-3334)へ。



詩のボクシングは、2人の朗読ボクサーが、どれだけ観客に自分の言葉を伝えられたかを競う「言葉の格闘技」です。参加を希望する人は1月28日までにサンメッセ鳥栖 ☎84・2121)へ。

とき ●予選会 1月29日(土) 午後1時～▽本選 2月27日(日) 午後0時半開場、同1時開演

ところ ●サンメッセ鳥栖ホール

参加資格 ●県内在住者および県内に通勤、通学する15歳以上の人

その他 ●未発表のオリジナル作品に限ります

サンメッセ鳥栖では、第2回「詩のボクシング」佐賀県大会を開きます。詩のボクシングは、2人の朗読ボクサーが、どれだけ観客に自分の言葉を伝えられたかを競う「言葉の格闘技」です。参加を希望する人は1月28日までにサンメッセ鳥栖 ☎84・2121)へ。

とき ●予選会 1月29日(土) 午後1時～▽本選 2月27日(日) 午後0時半開場、同1時開演

ところ ●サンメッセ鳥栖ホール

参加資格 ●県内在住者および県内に通勤、通学する15歳以上の人

その他 ●未発表のオリジナル作品に限ります

詩のボクシング 出場者募集

5キロの部(高齢者・壮年・中学生・女子)

交通規制

一時通行止め ●乗目・平塚交差点間、陸上競技場入口周辺、平塚交差点周辺(以時)

車線規制 ●四本松交差点、比叡IC(午前9時～同10時)

上午前9時～同11時)▽袖比IC周辺(午前9時～同10時)

市制50周年記念市民提案イベント

フライングディスク体験教室 in鳥栖スタジアム

とき ●1月16日(日) 午前10時～午後3時(受け付けは午前9時半～)

ところ ●鳥栖スタジアム

参加料 ●500円(保険料、参加記念フライングディスク代)

内容 ●フライングディスク実技講習・競技体験・遊び体験ほか

その他 ●小学3年生以下は保護者同伴、または大人が入ったグループでご参加ください。昼食は各自準備してください

申し込み ●1月12日(水)までに、九州龍谷短期大学地域交流センター ☎85-1121)へ

新春クロスロード講演会&首長サミット

鳥栖市、久留米市、小郡市、基山町で構成する筑後川流域クロスロード協議会では、「新春クロスロード講演会&首長サミット」を開きます。都市計画等コンサルタントの廣常啓一さんの講演に続き、各市町の市長・町長がクロスロード地域のまちづくりについて意見交換します。

とき ●1月15日(土) 午後1時15分

ところ ●中央公民館

申し込み ●事前に企画情報課 ☎85・3511)へ

都市計画等コンサルタントの廣常啓一さん

ガッツ Guts サガン鳥栖

来季も温かい声援を

一つとして掲げていた「最下位脱出」を果たすことができました。

試合では、リーグ優勝を決めている強豪川崎に粘り強く食い下がり、幾度となく前線へ切り込みます。

しかし前半二十九分、MF・落合選手が負傷で退場すると試合は一転、川崎ベース。

さらに三十九分、ファウルで川崎にPKを与えてしまい、FW・マルクス選手から先制点を奪われます。

後半も七十四分、七十七分と立て続けに失点。五千六百五十人のサポーターたちは最後まで勝利を信じて大声援を送り続けました

が、決め手を欠き、点を取ることができませんでした。

試合後には、松本監督と選手たちが「ありがとう」「来年も松本サガンを見せて」といった声援を浴びながらグラウンドを一周。一年間、選手や監督とともに戦い抜いたサポーターたちは、選手の健闘をたたえ、惜しみな

い拍手を送りました。



試合後、サポーターの声援に応える選手たち

い拍手を送りました。

中世山城と筑紫氏

Vol.151 ふるさと再発見 戦国勝尾城下町

前回まで「勝尾城と筑紫氏を巡る人々」について見てきました。豊臣秀吉との交流があったこともうかがわれましたが、このシリーズについては、前号をもって終了します。

今回は教育委員会が実施しました、市制施行五十周年記念事業「ふるさと再発見戦国勝尾城下町について報告します。

ふるさと再発見戦国勝尾城下町は「資料展示会」「遺跡見学会」「歴史文化交

流」講演会・シンポジウムを四本の柱として、十一月二十一日、二十八日に実施されました。この事業の趣旨は、日本の戦国時代を代表する城下町跡といわれる勝尾城下町の意義を再確認し、鳥栖市の誇る歴史遺産として、その情報を市民はもとより全国に発信するということです。

二十三日、二十七日の遺跡見学会は晴天に恵まれ、多くの参加者は城山麓の自然を満喫しながら、遺跡

があります。

江戸時代に広く知られた婦人薬。その中の一つに「安栄湯」

があります。

安栄湯はもともと、戦国時代、戦場での刀などによる傷「金瘡（きんそう）」

に肌で触れ、その規模の大きさに感動していました。

歴史文化交流では、筑紫氏のご子孫の方々をはじめ、有縁の人々から普段聞くことのできな

い、貴重な話をうかがうことができました。講演会・シンポジウムでは、戦国

時代の社会と勝尾城について、深く論議され、勝尾城下町が日本の戦国史研究

において避けて通ることのできない重要な遺跡

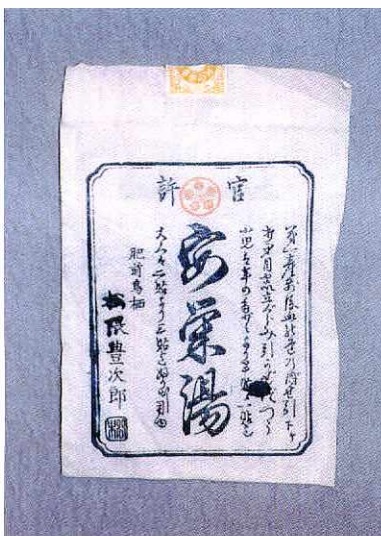
であることが改めて指摘されました。

参加者も遠くは東京方面の方もあり、盛会のうちに終わりました。



勝尾城下町が重要な遺跡であることを再認識した「シンポジウム」(11月28日)

vol.9 あんえいと湯 安栄湯



を治療するくすりとして利用されてきました。その後、月経痛や冷え性、つわり、更年期障害などに効果があることが分かり、江戸時代には婦人薬を代表するくすりとなりました。

や当帰(とうき)などの生薬を入れた布袋をお湯に浸して服用しました。戦乱の世に金瘡薬として生まれ、後の太平の世には婦人薬として活躍した安栄湯。「平安な世の中を」「安産で健康な子どもを」との意味がその名には含まれているのでしよう。

くすりよまやま話

中富記念くすり博物館語り継ぎ



鳥栖子どもミュージカル
あいと地球と競売人

市民手作りの本格的なミュージカル
に約2,800人の観衆が魅了されました。
(5月8・9日)



市制50周年記念事業・とす50祭に延べ131,000人(9月18～20日)



↑県民体育大会を鳥栖・三神地区で開催(10月2・3日)

平成16年を振り返る
2004



↑市制施行50周年記念式典を挙行(5月8日)



↑公式訪問団をドイツ・ツァイツ市へ派遣(7月10～20日)

- 1月 約700人が成人
- 10日 市制50周年を記念して消防出初式で古式消防演技「はしご乗り」を披露
- 2月
- 3日 (株) データプラスが商工団地に進出
- 17日 鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業が完工
- 3月
- 1日 「子供を犯罪から守る鳥栖市民緊急集会」を開催
- 12日 鳥栖プレミアム・アウトレットが開業
- 4月
- 19日 ヒヤーガンサン古墳石室を市重要文化財に指定
- 5月
- 16日 第16回鳥の日行事
- 23日 第16回花の日行事
- 6月
- 15日 市の広報紙「市報とす」が1000号
- 7月
- 13日 アテネ五輪・バドミントン日本代表、田中美保選手の激励壮行会を開催
- 22～27日 市制50周年記念事業・造幣局IN鳥栖
- 23日 「鳥栖市民防犯集会」を開催
- 24・25日 鳥栖山笠
- 8月
- 24～8月1日 市制50周年記念事業・とす昭和市場を中央市場商店街で開く
- 9月
- 3日 市の三役が高齢者慰問。市内最高齢は松田艶子さん、102歳
- 10月
- 23日 相撲部屋まつり
- 24日 長崎街道まつり
- 11月
- 9日 (株) 瑞穂が鳥栖北部丘陵新都市に進出
- 20日 市制50周年記念事業・鳥栖子ども議会
- 21～28日 市制50周年記念事業・戦国勝尾城下町
- 12月
- 1日～25日 ひかるフェスタTOSU2004